

6年生、思い出の修学旅行【2日目】

(京都・奈良方面) (10月22日、23日)

【2日目】京都三十三間堂見学、ハッ橋づくり体験、大阪ひらかたパーク

2日目は、京都へ移動して、東山にある三十三間堂を見学しました。千体もある千手観音像がずらりと並べられ、その整列美に圧倒されます。ひとつひとつの顔もその表情が少しずつ異なり、神秘的な空気が感じられます。ここでも参観する人は少なく、ゆっくりと見ることができました。



その後、昼食会場にもなっている「ハッ橋庵かけはし」という所で、ハッ橋づくりをしました。あんこ、抹茶、にっきの三種類の生ハッ橋をつくる体験です。それぞれつくったハッ橋は、お土産として持ち帰りました。



最初に説明を聞いてからつくります。生地に抹茶などの粉を入れて、よく練り込みます。



練った生地を麺棒のようなものでよく伸ばし広げます。正方形になるように切り、中にあんこを入れて出来上がり。お土産として、持って帰りました。

京都を後にして、いよいよ児童が楽しみにしていた「ひらかたパーク」です。雨もすっかり止んで、薄日が差す天気になりました。待ち時間もさほどなく、児童はグループでいろいろなアトラクションにチャレンジしていました。



いざ！ひらかたパークへ



絶叫マシンに乗り込みました。



園内には、ハロウインの飾り付けが、たくさんありました。

2日間の修学旅行が終わりました。伊佐、宿南、高柳の3小学校29名の6年生は、見学する態度、各場所での行動、仲間と一緒にの行動など、自分たちの行動に責任を持ち、しっかりと過ごしていました。これから後の6年生での学校生活、そして八鹿青溪中学校でのさらなる成長も期待できそうです。

伊佐公民館に到着したときには、日も暮れて真っ暗となっていました。最後の会では、担任の植木先生から「感謝の言葉を忘れないで」というお話もいただきました。

コロナ禍の中、この修学旅行にご理解いただき支援をしていただきました保護者の皆様、そして事前準備、打ち合わせ、旅行の添乗をしていただいた旅行社の井上さんや観光バス会社の皆様、本当にありがとうございました。

